



▲旧東海道の街並みを感じながら歩く参加者

歩いて知る旧東海道の魅力

甲賀市市制施行10周年記念市民提案事業
東海道浪漫歩行 未来・夢あかり30キロウォーク

東海道石部宿から水口宿を通り、土山宿まで30キロの道のりを歩くイベントが10月18日開かれ、県内外から参加した約400人が、思い思いのペースでウォーキングを楽しみました。

この催しは、旧東海道の宿場の魅力を歩く目線で感じてもらうと、公益社団法人水口青年会議所が初めて実施したものです。

ゴール手前約10キロの街道沿いには、色とりどりの灯籠が出迎え、参加者は、心づくしの「おもてなし」に元気づけられながら完歩の喜びを味わいました。

焼き物の原点「野焼き」を体験

信楽高等学校 県立陶芸の森研修

信楽高校生が10月21日、県立陶芸の森で作陶の技術や歴史を学ぶ研修を行いました。

セラミック科の2年生は、陶芸作家の指導を受けながら12月に登り窯で焼く花器などを作陶しました。また、1年生は、陶器の最も原始的な焼き方である「野焼き」を体験しました。

焼き上げられたのは、生徒が基礎実習で作成した花瓶などの小物約80点です。生徒は、火の勢いや温度を感じながら作品の様子を観察したり、薪を足したりして、焼き物の原点を学び、興味を深めていました。



▲「野焼き」で作品を焼き上げる信楽高校生



▲木の手触りを楽しみながら輪投げ作りをする親子

親子で木材に親しむ

甲南北保育園・森林林業体験

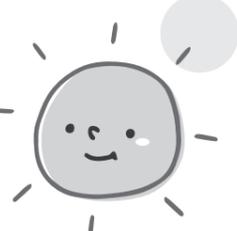
森林林業体験が10月29日、甲南北保育園で行われました。

木材に触れ、人と木の関わりについて理解を深めてもらうと滋賀県南部流域森林づくり研究会などが実施し、園児と保護者66人が参加しました。

参加者は、同会のメンバーや地域の木材生産者から説明を受けながら、枝打ちを体験した後、木製のおもちゃ作りに挑戦し、地元で植えた木が製品になるまでの流れを学びました。

子どもたちは、木のおいや紙やすりですべすべになっていく手触りに気付いたり、完成した輪投げを楽しんだりして木材に親しむ機会となりました。

元気なまちかど



子どもを犯罪から守るために

甲南第一学区防犯教室

甲南第一学区で初めての防犯教室が10月10日、甲南第一小学校で開かれ、学校や保護者、地域の方など約130人が参加しました。地域が一体となって子どもを犯罪から守ろうと自治振興会防犯パトロール部会が中心となって開かれました。教室では、甲賀警察署の担当者による講義や不審者の行動の実演が行われました。「犯罪を防ぐには、犯行に都合の良い「入りやすく見えにくい」場所を把握すること」など地域の見守りの大切さが説明されました。参加者は、今後の活動に生かす具体的な対策について学ぶ機会となりました。



▲実演で犯行の手口を学ぶ参加者

100チームが熱気あふれるプレー

伝統の2GB大会

伝統ある2つのゲートボール大会が10月、市内で開催されました。18回を数えるみなくちかんぴょうの里杯が水口スポーツの森多目的グラウンドで、また、第22回忍者の里杯が、甲南グラウンドでそれぞれ行われ、両大会とも県内外から100チームが参加、600人を超えるゲートボール愛好者が集い、熱気あふれるプレーを繰り広げました。



▲開会式での選手宣誓
(みなくちかんぴょうの里杯)



▲各コートで繰り広げられた熱戦
(忍者の里杯)

音楽と遊びを通して親子のふれあいを

甲賀市市制施行10周年記念特別事業

赤ちゃんから楽しめる音楽とあそびの広場が10月12日、あいこが市民ホール、碧水ホールで開催され、約800人が来場しました。子育てを楽しくするまちづくりをめざして、市・市教育委員会が実施し、クラシックコンサートのほか、ベビーマッサージや手作りおもちゃコーナーなどが設けられました。

コンサートでは、お母さんと赤ちゃんが楽器の音色に合わせて体をゆらしたり、子どもたちが手拍子をしたりと心なごむひと時を過ごし、家族が楽しく触れ合う一日となりました。



▲親子で賑わうあそびの広場